

3/30 (水) 尽力された功績をたたえて  
町村会民間自治功労者表彰



県内各町村の発展に顕著な功績のあった方々に対し、令和4年度民間自治功労者表彰が行われました。町からは、杉浦一雄さん(写真左)と東ヶ崎道男さん(写真右)の2人が、民間自治功労者として表彰されました。

杉浦さんは、長年にわたり統計調査員や文化財保護審議委員、農業委員会委員などを務め、特に統計調査員としては、国勢調査をはじめ農業センサスや経済センサス活動調査などにおいて、調査客体への詳しい説明や的確な指導を行い、他の調査員の模範となっています。

東ヶ崎さんは、平成2年より保護司として活動し、社会奉仕の精神のもと、犯罪や非行の予防を図るなど、個人や公共の福祉に貢献されています。また、農業委員会委員や防犯連絡員、交通指導員を担うほか、茨城町スポーツ協会では40年以上活動を続けており、スポーツの振興にも寄与されました。

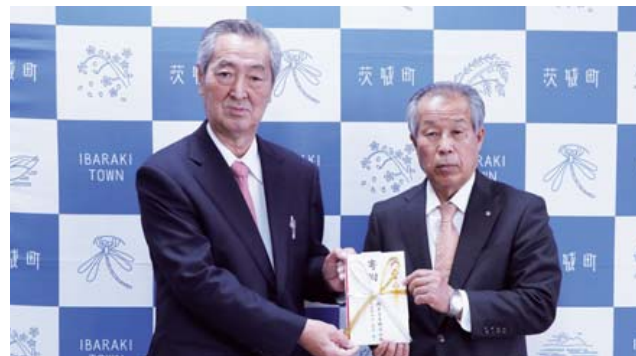
4/20 (水) 株式会社茨城もぎたてファクトリー  
農林水産省大臣官房長賞の受賞を報告



町内で小松菜やほうれん草を使用した冷凍惣菜を加工・販売している、(株)茨城もぎたてファクトリーの久信田清人代表取締役社長(写真中央)、上野拓朗取締役(写真左)が来庁され、小林町長に『第43回食品産業優良企業等表彰事業』における、農林水産省大臣官房長賞受賞を報告しました。

今回の表彰事業は、食生活ニーズに対する的確な対応、農工商連携推進等による地域農林水産物の利用増進、生産性の向上等、食品の製造加工において高度な技術・技能を有する者に対して贈られるもので、昭和54年から実施されています。

3/30 (水) 橋本畜産株式会社  
町に100万円寄附



橋本畜産(株)(橋本武二代取締役、写真左)より、町に100万円が寄附されました。

橋本代表は、長きにわたり茨城町社会福祉協議会へ多額の寄附を行っており、さまざまな福祉サービスの充実に寄与するなど、多大な支援をされています。

小林町長は「多大な心遣いに感謝申し上げます。町民の皆様が暮らしやすい町にするために活用させていただきたい。」と謝辞を述べました。

4/12 (火) 新たに5人の委員を決定  
政治倫理審査会委員委嘱状交付式



清水会長 川澄副会長 八文字委員 関委員

茨城町政治倫理審査会について、新たに5名の委員を決定し、出席した4名の委員に委嘱状が交付されました。同審査会は、町長、副町長、教育長及び町議会議員が、条例で定める政治倫理基準や、町の工事に関する遵守事項に反する行為をした疑いがある場合に、町民からの調査請求により、必要な調査や審査を行います。

(政治倫理基準)

- ・その職務に関し不正の疑惑を持たれるおそれのある行為をしないこと。
- ・地位を利用して、いかなる金品も授受しないこと。
- ・町の公共工事等に関し、特定の業者が有利になるような取り扱いをしないこと。等

役職	氏名(敬称略)
会長	清水 正三(下石崎)
副会長	川澄 重喜(小幡)
委員	阿久津 正晴(水戸市)
委員	八文字 正寛(大戸)
委員	関 尚久(小堤)

3/22 (火) 町産メロンのシーズンがスタート!  
JA水戸茨城町メロン部会  
県知事表敬訪問



JA水戸茨城町メロン部会(鳥羽田剛部会長)が初出荷を迎え、相田幸夫さんが生産した「オトメロン」227箱を市場へ出荷しました。また同日、JA水戸飯島清光組合長と小林町長ほか関係者で、大井川和彦茨城県知事へ表敬訪問し、初出荷を迎えた事を報告しました。大井川知事からは、「メロン全国一位の茨城県の中でも一番早い出荷というのは大きな差別化につながる。」と激励を受けました。

今回出荷されたオトメロンは、緑色の果肉ですっきりとした甘みが特徴です。同部会では他に「アンデス」「レノン」「イパラキング」などの品種を生産しています。同部会のメロンは、町内の直売所やネット販売でも購入できますので、ぜひご賞味ください。

3/25 (金) 言葉と想いを伝え合うサポート  
手話奉仕員養成講座(基礎課程)  
閉講式



茨城町聴覚障害者協会は、町総合福祉センター「ゆうゆう館」において、令和3年度茨城町手話奉仕員養成講座(基礎課程)閉講式を行いました。

6名の受講生が厚生労働省認定手話奉仕員養成カリキュラム基礎課程を修了し、修了証書が授与され、第2期生の茨城町手話奉仕員として登録されました。

受講生は手話による「絵本語り」と「スピーチ」を表現豊かに行い、2年間の受講の成果を発表しました。また、これまでの講座を振り返り、「他の受講生たちと互いに励まし合いながら学ぶことができました。今後も聴覚に障がいのある方と手話を通じて交流していきたい。」「この講座でろう者と出会い、手話を学び、視野が広がった。今後は手話通訳者を目指し、ろう者のサポートができるようになりたい。」などと語りました。

3/16 (水) 昔話を方言で再話  
七絃の会 表敬訪問



青木さん 川澄さん 藤枝さん

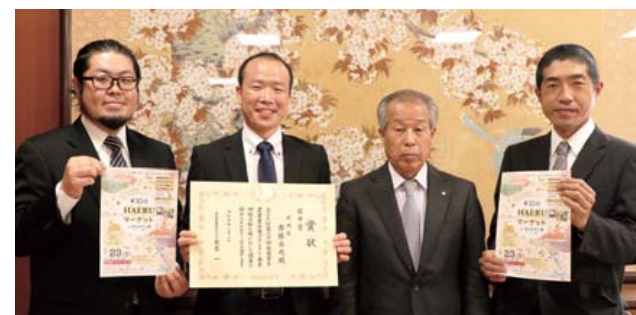
茨城町を中心に活動する語り手グループ「七絃の会」の活動報告が行われ、同会が携わった発行物などが小林宣夫町長に手渡されました。

七絃の会は、県内の昔話の収集や発掘をし、共通語や土地言葉(方言)を用いて語り伝える活動をしています。平成28年より、茨城大学人文社会科学部の杉本妙子教授による茨城大学土曜アカデミー「聞いてみっぺ・語ってみっぺ・方言昔話」に語り手として参加するなど、地域に根付いた文化を守り伝える活動に寄与しています。代表の藤枝安子さんは、「方言という地域特有の文化を守り、その伝承に貢献したい。」と語りました。



茨城大学図書館公式  
YouTubeチャンネル

3/25 (金) 若手農業者の活動 高く評価  
全国青年農業者会議  
農林水産省経営局長賞受賞



萩谷さん 齊藤さん 道川さん

全国の若手農業者が取り組みや意見を発表する「全国青年農業者会議」で、町内の農業後継者等で構成される茨城町4Hクラブを代表し、「HAERUマーケット」の取り組みを発表した齊藤卓也さん(若宮)が、地域活動部門で優秀賞「農林水産省経営局長賞」に輝きました。齊藤さんをはじめ、同クラブ会長の道川栄治さん(南川又)、萩谷展研さん(越安)が、受賞を報告するため、小林町長を表敬訪問しました。

齊藤さんたちは、「町内の廃校を活用して、マルシェを開催し、地域を盛り上げたい」という思いから、町内の廃校や涸沼自然公園で、地域の野菜や特産品などの販売、楽器の演奏や絵本の読み聞かせなどを行う「HAERUマーケット」を開催しています。

※HAERU(はえる)マーケット…  
「生える、映える、栄える、入る(い)る」の総称